

共にしあわせ産みだす党 日本共産党

# 市議団ニュース

第 1854 号 2017 年 10 月 1 日  
日本共産党 根室市議団  
根室市宝林町4-203 TEL23-6023

## 議長・副議長など議会の人事 決定しました 根室市議会 2017 年 定例会

2017 年 9 月 27 日

根室市議会は、「平成 29 年 定例会」を開会しました。根室市では「ほぼ通年」形式をとっていますので、会期は来年 8 月 31 日までの 339 日間です。

### 議長に本田俊治議員が就任

初日の「開会議会」では議長・副議長など議会人事が行われました。

議長選挙に、創新から本田俊治議員、市政クラブから千葉智人議員、日本共産党から鈴木一彦議員が立候補を届け、選挙の結果、本田議員と千葉議員が 8 票づつの同数獲得し、くじ引きの結果、本田議員が当選しました。

なお今回の立候補にあたって鈴木一彦議員が述べた決意表明は以下の通りです。

今回の根室市議会議員選挙では、前回をも下回る史上最低の得票率となりました。これまでの議会活動に対する市民の厳しい審判であるともいえます。この結果を真摯に受け止め、市民の負託に応え、行政を厳しい目でチェックし、積極的な議案提案をおこなえるよう議会の権能を発揮し、議会改革の本誌に基づいた活動を強めていかなければならないと考えます。

根室市をとりまく状況は、歯止めのかからない人口減少、領土問題、産業問題、財政問題等依然として多くの課題を抱えています。課題解決に向け前進していくために、二元代表制の一翼を担う議会として、行政および市民と連携して、議会活動を強力に推進していくことが求められています。

これまで 16 年間の議員活動で得た経験をフルに活用し、議長としてより公正な議会運営につとめ、議員間の自由討論などにもとづき議会の合意を図り、議会の政策能力を高めるため議会改革を推進していきます。

根室市の抱える課題解決のためにみなさんと力あわせて全力で取り組む決意を申し上げて決意表明といたします。

### 副議長に遠藤輝宣議員が就任

続けて行われた副議長選挙では、大地から遠藤輝宣議員、日本共産党から橋本竜一議員が立候補を届け、選挙の結果、遠藤議員が 15 票を獲得し当選しました。

### 各委員会の配置

議会運営委員会、各常任委員会、そして北方領土対策特別委員会と水産対策特別委員会の設置と配置が決定しました。

各委員会の配置は以下の通りです。

◎委員長、○副委員長。議席番号順。敬称略。

#### 総務常任委員会（6 名）

○橋本 竜一	田塚不二男	工藤 勝代
遠藤 輝宣	滑川 義幸	◎壺田 重夫

#### 文教、厚生常任委員会（6 名）

◎鈴木 一彦	野潟 龍彦	小沼 ゆみ
久保 浩昭	本田 俊治	保坂いづみ

#### 産業経済常任委員会（6 名）

富川 歩	五十嵐 寛	◎波多 雄志
足立 計昌	千葉 智人	○久保田 陽

#### 議会運営委員会（5 名）

○橋本 竜一	足立 計昌	工藤 勝代
久保 浩昭	◎滑川 義幸	

#### 広報委員会（5 名）

鈴木 一彦	野潟 龍彦	保坂いづみ
久保 浩昭	工藤 勝代	

※広報委員会の正副委員長は今後決定される。  
北方領土対策特別委員会

鈴木 一彦	野潟 龍彦	工藤 勝代
久保 浩昭	本田 俊治	○千葉 智人
遠藤 輝宣	◎田塚不二男	保坂いづみ

#### 水産対策特別委員会

橋本 竜一	五十嵐 寛	◎波多 雄志
富川 歩	滑川 義幸	久保田 陽
○足立 計昌	小沼 ゆみ	壺田 重夫

### 病院の職員の待機手当・呼出手当

また開会議会では、病院事業会計補正予算が提案され、夜間や休日に救急待機業務を行っている職員に対し、待機手当および呼出手当を創設し支給するための、補正予算を全会一致で可決しました。

各地の病院で実施している手当ですが、これまで市立根室病院では行われていませんでした。看護師など人材確保対策の一環として取り組まれたものです。

### 変えるチャンス、意気高く！

2017 年 9 月 15 日

前衆議院議員

畠山 和也



いよいよ解散・総選挙！一カ月もない超短期決戦ですが、全道の党と後援会、読者・支持者のみなさんと心ひとつにがんばります。力強い応援を心よりお願いします。

北海道の比例定数は八。日本共産党の議席は決して「指定席」ではなく、11 年ぶりに勝ち取ったこの議席を 2 年 10 ヶ月で失うわけにはいきません。同時に、比例二議席へ前進することが安倍政権を終らせる確かな保証になります。かわへ電二比例予定候補と、全道で訴えぬきます。原稿を書いている時点では確定していませんが、小選挙区の共闘も必ず成功させたい。

前回の選挙のことを思い出します。12 月という極寒・積雪のなかで文字どおり走り回ってピウを届けてくれた方、病院から力を振り絞って支持の電話をかけてくれた方、ドラムをたたいて宣伝を盛り上げてくれた方、おいしい食事を作ってくれた方、一生懸命に手を振ってくれた方、議会の合間に奮闘された地方議員さん、選挙事務所・地区委員会の支え……他党と違う議席の重みが、日本共産党にあると痛感しながらたたかいました。

当選後、国会で議員バッジをつけた時に同僚議員と「本当にバッジが重い」と話したことを覚えています。振り返れば反省ばかりの日々でしたが、道民の声を届ける大切さを痛感しました。安倍政権の暴走や強行採決の連発には、何度も怒りの声をあげました。もっと力をつけねばと心底、思いました。

政治を変えるチャンスです。  
意気高くたたかいたい！